

ななむら

第46号
発行：照来地区公民館
責任者：館長
☎ 92-1738

平成31年3月1日現在
世帯数 536世帯
人口 1,548人
(男727人、女821人)

『第3回野菜づくり講座』を開催しました！

3月20日(水) 照来地区公民館において、「第3回野菜づくり講座」を開催しました。

今回も、講師にJAたじま温泉営農生活センターの宮部正信さんをお招きし、「野菜づくりの基礎知識」について教えていただきました。

参加されたのは、偶然にも午前中に出席した「照来小学校卒業式」の卒業生の数と同じ21名でした。

初めて参加された方が何名かおられ、少しずつですが、公民館事業というものが理解され浸透しつつあるのかなと感じました。

内容は、色々な野菜の種まき時期や肥料の成分、野菜の特徴などについてお話をいただきました。

次回は、6月頃を予定しております。



「照来小学校卒業式」がありました！

3月20日(水) 照来小学校の卒業式があり、21名の児童が卒業されました。卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これで、この照来小学校の卒業生は3,385人となりました。

卒業式では、卒業生が、在校生や保護者、先生方に感謝の言葉を述べていましたが、担任の先生が涙ぐむといったシーンがあり、児童と先生の関係が良かったことが伺えました。

式終了後は、玄関で先生、保護者、来賓が、卒業生一人ひとりと握手をし、お見送りをしました。(写真) 大変いい卒業式だったと感じました。

ただ、この子どもたちが、将来社会人になったとき、何人がこの照来に残っているのかなと思っていました。というのも、全校生が72名で今回卒業生が21名、来年度新入生10名となると31年度は全校生61名となります。今後も減少し続けることは間違いありませんし、当然照来の人口も減少していきます。10年後、20年後の照来は、どうなっているのでしょうか。

卒業式の翌日、シアトルマリナーズのイチロウが引退を発表しました。イチロウは、数々の名言を残してきましたが、私は、次のような名言が心に残っています。

卒業生の皆さんに「努力」という言葉を送りたいと思います。



《イチロウの名言》

努力せずに
何かができるようになる人のことを
「天才」というのなら
僕はそうじゃない。
努力した結果
何かができるようになる人のことを
「天才」というのなら
僕はそう思う。
人が僕のことを
努力もせずに打てるんだと思うなら
それは間違いです。

4月の事業予定

「メディカルヨガ教室」

- 開催日 4月23日(火)
午後7時30分～8時45分
- 場所 「照来地区公民館」
- 講師 「但馬療術院」福井 強 さん

＜メディカルヨガとは＞

一般的なヨガをアレンジし、病気や障がいのある方もできるよう、動きを工夫し、また、病的状態を最大限に改善させるようプログラムしたのが、メディカルヨガ（医療ヨガ）です。

＜特徴として＞

- 動脈血の流れを良くし、全身すみずみまで行き渡らせる。
 - 全身を流れる静脈・リンパ液のうっ滞を取り除く。
 - 脊髄を中心に姿勢を矯正する。
- ※肩こり、腰痛の解消や不眠にも効果があるようです。

「照来カラオケ同好会」会員再募集！

前号で「照来カラオケ同好会」の会員募集をしましたが、3名しか申し込みがありませんでした。

まずは、この3名の方でスタートしたいと思いますが、これからでも、まだまだ間に合いますので、申し込みください。連絡お待ちしております。



毎月定期的に行なう教室

平成31年度の照来地区公民館事業は、毎月定期的に行なうような教室を考えたいと思っています。



現在、「カラオケ」や「メディカルヨガ」を考えておりますが、こんな教室を開いてほしいという要望があればご連絡ください。

- 連絡先：照来地区公民館長 山本清孝
☎ 92-1738

前号で紹介した「鬼の宿」の続きがありました！

前号が配布されてすぐ、「うちも『鬼の宿』だったあで！」という電話がありました。それは、私の地元塩山の方からでした。塩山には2軒あったようです。

また、丹土の杉岡区長さんから、丹土と中辻の「鬼の宿」についての資料をいただきました。

資料によると、丹土に1軒、中辻に3軒あるようです。共通して言えることは、「節分に豆まきはしない。」「土間にムシロを敷き鬼を迎える。」「輪番ではなく家が固定化している。」ということです。

共通すること以外に行っていることは、家によって違うようですが、元々は同じことを行っていたのではないかと思います。月日が経つにつれ変わっていったのではないのでしょうか。

丹土と中辻の「鬼の宿」のお家を紹介します。

〔丹土のお家〕

豆まきはしない。一年の厄落とし祈願で四つ辻へ数え年の数と小銭を半紙に丸め地面に落とし、他の人に会っても挨拶せず無言で振り返らず家へ帰る。

炒り豆は一升枙に入れ神棚へ供え、カミナリが鳴ったら歳の数を食べる。

追われて行き場のない、逃げ道のない鬼をかかまって、一晩泊め、おとなしくなった鬼を山に帰す。

〔中辻のお家〕

節分に豆まきはしていなかったが、現在は豆まきをしている。かつて、我が家の節分は、節分に各戸から追われた鬼を休ませるため、土間にムシロを敷いて、木の枕をし、肥タンゴ（多分便所用）を1つ用意し、枕元にローソクを灯して寝床をつくっていた。

赤飯等を供えていたようだ。

〔中辻のお家〕

節分に豆まきはしない。炒り豆は節分後のカミナリが鳴った日に食べる。

鬼宿としては、臼の上にごごを敷き、鬼が寝られるようにする。

夜、お地蔵さんの場所へ口上を述べながら、羽織、袴で鬼を迎えに行く。